

USPTO、初めて出願する発明者を支援する試行プログラムを発表

2024年1月10日
JETRO NY 知的財産部
蛭田、福岡

USPTO は、イノベーションエコシステムへのアクセス拡大と、出願能力に乏しい (underresourced) 発明者の支援に関する継続的な取組の一環として、初めて特許出願する発明者を支援する試行プログラム「Pre-Prosecution Pilot」を開始すると 2023 年 12 月 21 日に発表¹した。

本試行プログラムは、2022 年に成立した「Unleashing American Innovators Act of 2022 (UAIA 法)²」において、法律の成立から 1 年以内に開始することが規定されていた。

試行プログラムでは、初めて特許出願する発明者に対して、USPTO の審査官により、特許検索ツールを使用した検索および発明の内容が新規性を有するか否かの事前評価について支援される。同プログラムにおける発明評価は USPTO からの正式な見解とは扱われないが、審査官からの支援によって、初めて出願する者によく見られる出願プロセスにおける誤りを回避できると USPTO は説明している。

同プログラムへの応募は 2024 年 1 月 31 日まで受け付けられており、その後、20 名の対象者が選抜され、初回のトレーニングが 2 月 27 日から 28 日の 2 日間で実施される。トレーニングでは、特許出願プロセス等の基礎、検索ツールの使用方法や USPTO が提供している無料の法律相談等のプロボノ活動の紹介の後、実習を経て USPTO 審査官との 1on1 でのフィードバックが行われる。

USPTO の Vidal 長官は「発明者と起業家は米国経済の生命線である。ガレージで働く個人発明者から大企業に至るまで、USPTO は、全ての人のために、そして全ての人により、より多くのイノベーションを促進することを約束する。この試行プログラムは、アイデアを保護し市場に投入しようとする個人発明者に対して、より望ましいイノベーションエコシステムを提供するための USPTO の新たな手段である」と発言している。

(以上)

¹ USPTO establishes new pre-application assessment program to help American inventors

² https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnnews/us/2023/20230104.pdf